

図2 診断後、成人期までの自立支援を中心とする診療ロードマップ(医師)

支援する年齢		乳児期	幼児期		学童期(小学生)		思春期(中学生)	青年期	成人期
		0-1歳	1~3歳	3~6歳	7~9歳	10~12歳	13歳~15歳	16~19歳	20歳~
医師		<ul style="list-style-type: none"> ・家族へ丁寧に病気の説明をする ・子供にも診察して声をかける 			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの言葉で、他の子どもとの違い、病気の説明を行う ・病気に伴う体調不良時の症状を教える 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい病名とより深い病態について説明する。 ・検査の内容や目的をわかりやすく説明する ・移行についても話題とする 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども自身が、疾患をどこまで理解しているか、確認する。 ・診察室で子どもだけの時間、空間をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども自身が、病状、検査、治療ができていないか、療養行動ができていないか、を確認する。 ・親離れ、子離れが始まっていることを確認する。 	